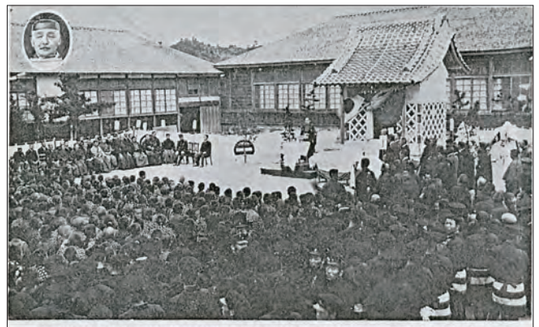
広報ひろの 600号

昭和26年４月に創刊した広報ひろのも今月号で600回目の発行となりました。
町民の方々の協力により、広野町の「今」を伝え続けてきた広報紙。そこには、
時代とともに移りゆく広野町の歴史が刻まれています。
これからも町と町民のみなさんをつなぐ架け橋として、町の状況をお知らせしていきます。

昔の広報に見る広野町



写真は大正10年４月校舎増築記念に撮影した広野小学校です。広野小学校は，尋常高等小学校と称し，明治33年現在の地築地に創設されたのです。教室は六教室。初代校長は石城郡泉村出身の阿部氏でした。

写真は昭和５年３月18日広野駅出入口前で記念撮影の駅員の方たち。
広野駅は明治31年８月23日常磐線全線が開通されたと同時に開業をしたのです。
広野駅を利用した乗車人員と旅客運賃収入実績の変遷（数字はその年の１日平均）

年度		乗車人員	旅客運賃収入額
大正	13年	181人	70.38円
昭和	3年	178人	58.68円
昭和	10年	149人	44.38円
昭和	20年	266人	418.43円
昭和	42年	961人	59,681.00円

ひろの明治100年史　昭和43年11月３日発行

写真は新広野炭鉱株式会社小松鉱業所の全景で昭和30年10月ころの全盛期には，月産２千屯でした。社長は大貫経治氏。

写真は新広野炭鉱株式会社銅屋鉱業所の全景で昭和30年10月ころの全盛期には，月産３千８百屯でした。社長は大貫経治氏。

写真は品川白煉瓦株式会社広野工場の全景で，創業開始は昭和12年４月です。昭和37年７月ころが最盛期で月産２千２百屯位でした。工場長は富永十郎氏。

ひろの明治100年史　昭和43年11月３日発行

沿　革

1889年（明治22年）４月１日
　町村制施行に伴い広野村誕生
1940年（昭和15年）４月１日
　町制施行で広野町となる
1971年（昭和46年）３月
　東京電力㈱火力発電所の誘致決定
1972年（昭和47年）８月
　役場庁舎完成
1980年（昭和55年）４月
　東京電力㈱広野火力発電所１号機営業運転開始
1980年（昭和55年）６月
　町民憲章制定
1986年（昭和61年）11月
　折木・桜沢で恐竜化石発見される
1997年（平成９年）７月
　Ｊヴィレッジがオープン
1999年（平成11年）10月
　天皇皇后両陛下行幸啓
2002年（平成14年）３月
　常磐自動車道広野ＩＣ開通
2006年（平成18年）４月
　ＪＦＡアカデミー福島が開校
2011年（平成23年）３月
　東日本大震災・福島第一原子力発電所事故発災
2011年（平成23年）４月
　広野町全域緊急時避難準備区域指定へ
2011年（平成23年）９月
　緊急時避難準備区域指定解除
2012年（平成24年）３月
　町長指示の避難指示を解除
2013年（平成25年）11月
　二ツ沼総合公園パークゴルフ場再開
2013年（平成25年）12月
　東京電力㈱広野火力発電所６号機営業運転開始
2014年（平成26年）６月
　広野町消防団「民報金ばれん」受賞
2015年（平成27年）４月
　県立ふたば未来学園高等学校開校
2015年（平成27年）10月
　皇太子同妃両殿下行啓
2016年（平成28年）３月
　公設商業施設「ひろのテラス」オープン
2018年（平成30年）３月
　広野駅東側ロータリー完成
2019年（平成31年）４月
　広野こども園開園
2019年（平成31年）４月
　ふたば未来学園中高一貫校開校
2019年（平成31年）４月
　Ｊヴィレッジ駅開業。Ｊヴィレッジ全面再開
2021年（令和３年）４月
　広野町制施行80周年記念式典
2021年（令和３年）６月
　常磐自動車道（いわき中央ＩＣ～広野ＩＣ）４車線化

1967年９月号　No.87

保育所設置される

広野町ではかねてから婦人・家庭の幼児たちを保育する施設の要望を強く要望されておりましたので，町でも急きょ具体化し，昭和四十二年度の事業として，総工費八四五万円（国・県補助五千万円）で木造平屋建て二四六十三平方メートルの明るくモダンな保育所が近代舞踊建築されました。保育室，乳児室，遊戯室などがあり，各種遊具や給食施設，午睡設備などもいっさい完備しています。五月一日に竣工式を挙行いたしました。

職員は現在所長遠藤清一氏と主任保母佐藤芳子さん（28），保母は赤みち江さん（21），岡崎彦のり子さん（21）のほか，調理員渋川君江さん（34）の五人です。収容人員は七〇名ですが，たりない点は十一名が入所しております。

（写真はりっぱな広野所の全景）

1969年５月号　No.105

昭和52年４月１日より閉校になった箒平分校

箒平分校閉校

この度、中学生一名小学生一名は四月一日より本校で勉学することになり、明治六年五月八日より続いた、分校教育は昭和五十二年四月一日に閉校されることになった。明治四十一年までは家庭教場として久保田鉄五郎氏宅隠居を教場として利用され、昭和四年九月三日小学校箒平分校設置、昭和三十四年三月箒平分校改築同年四月中学校箒平分校が設置されたものでその間、分校勤務教職員等次のとおり

小学校　一九名
中学校　二三名
小学校卒業生一五九名
明七六名女八三名

1977年４月　No.152